

サカティンクス株式会社

2022年12月期

決算説明会

2023年3月1日

## 1. 2022年12月期 実績

## 2. 2023年12月期 通期予想と投資計画

## 3. 持続的成長に向けた取り組み

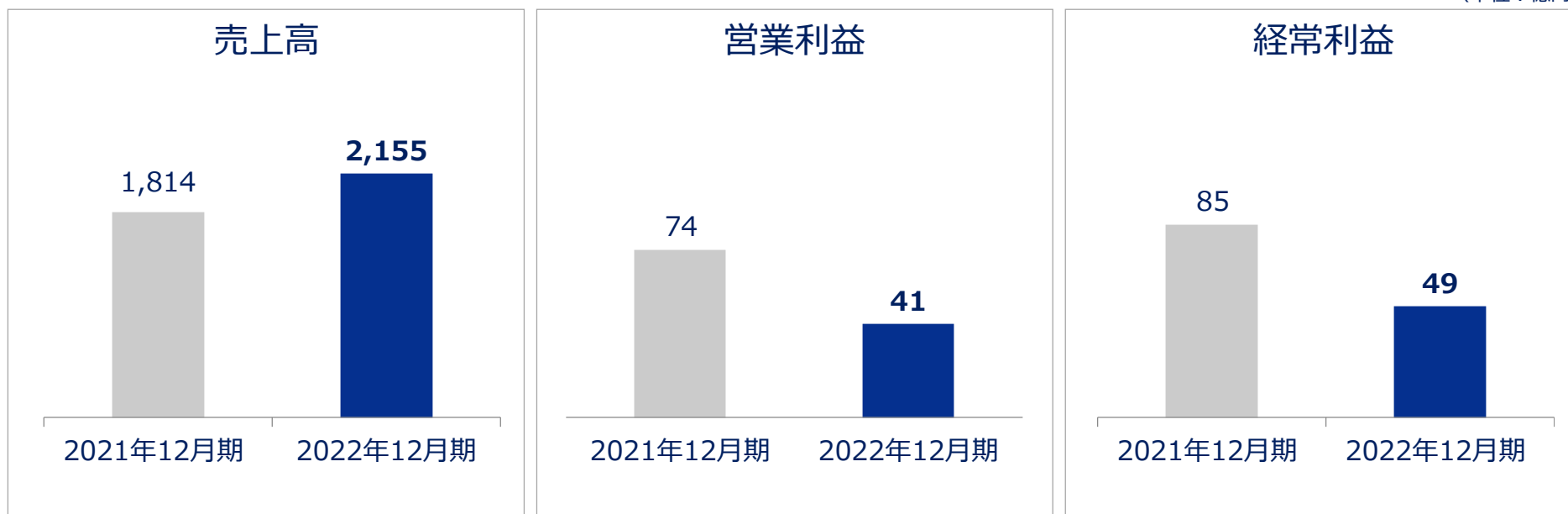
## 4. 配当金について

本資料に記載されている将来の計画数値、種々の施策は2023年3月1日現在で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断したものでございますが、今後の経済情勢、事業環境等により変化することもあり、計画数値、種々の施策を確約したり、保証するものではありません。  
また、記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

# 1. 2022年12月期 実績

# 1-1 連結実績

(単位：億円)



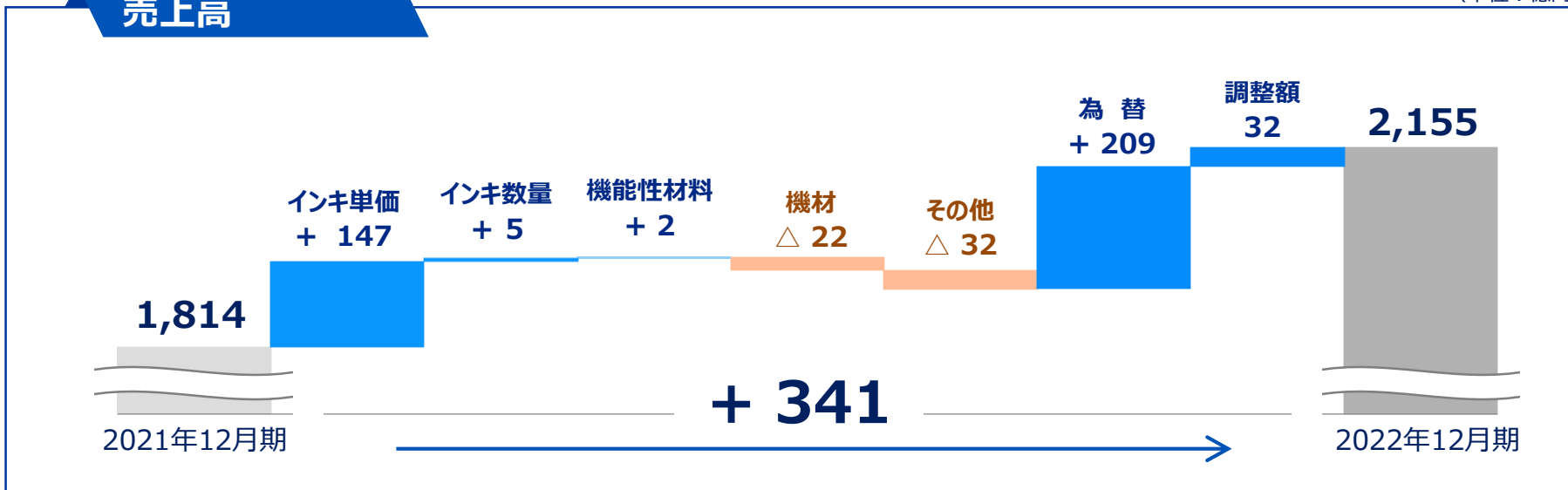
(単位：億円)

	2021年12月期		2022年12月期					
	金額	売上高比率 (%)	金額	売上高比率 (%)	増減額	前期比 (%)	為替換算影響額	為替影響排除後増減率 (%)
売上高	1,814	-	<b>2,155</b>	-	340	18.8	208	7.2
営業利益	74	4.1	<b>41</b>	1.9	△32	△44.4	4	△50.1
経常利益	85	4.7	<b>49</b>	2.3	△35	△41.7	3	△45.3
親会社株主に帰属する当期純利益	49	2.7	<b>45</b>	2.1	△3	△7.7	3	△14.5
期中レート(USDドル)	109.80 円		<b>131.43 円</b>					

# 1-2 前期比 要因別増減

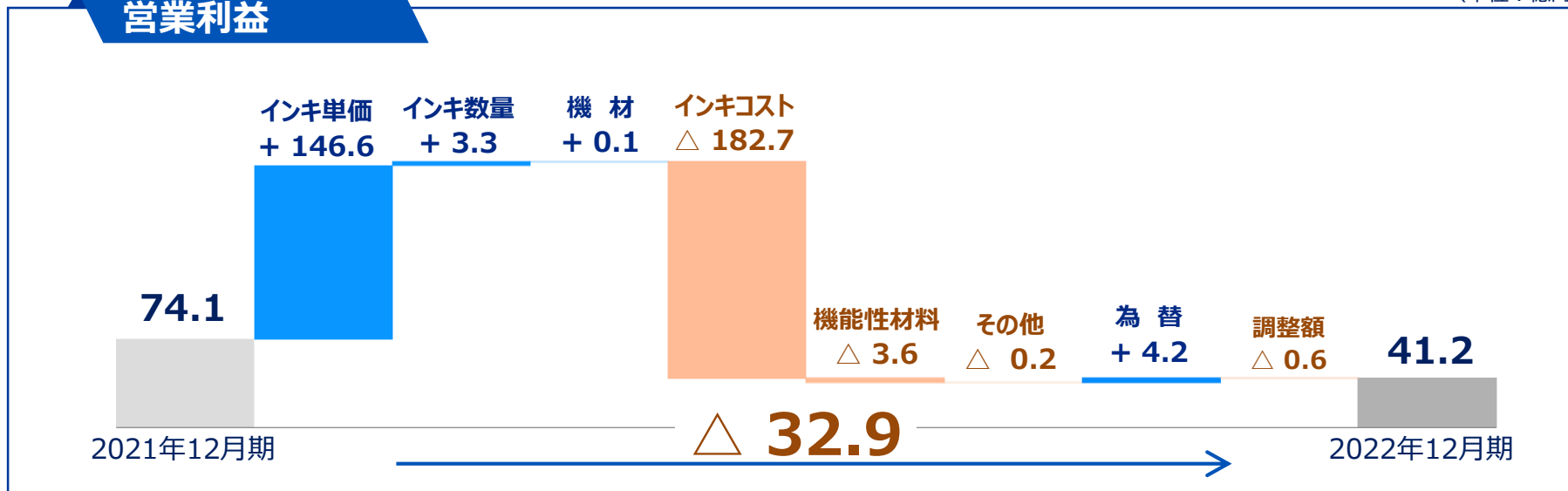
(単位：億円)

## 売上高



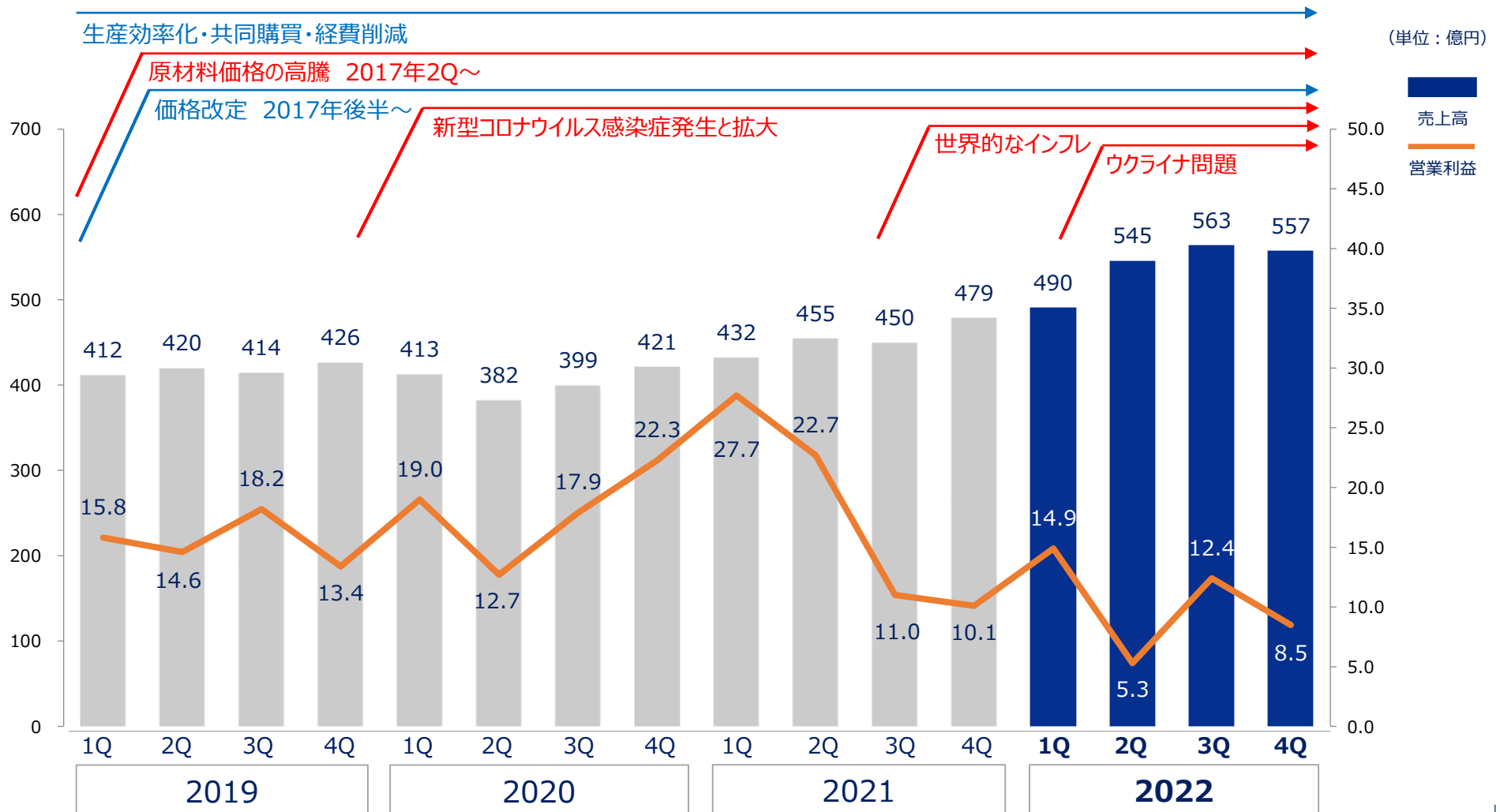
(単位：億円)

## 営業利益



# 1-3 四半期別 売上高・営業利益

価格改定や拡販、世界的インフレと円安に伴う為替換算の影響で売上は伸びているが、材料・輸送コストの高止まり、人件費やユーティリティコストの高騰により営業利益は減少



# 1-4 コスト上昇の背景と利益影響

## 背景

サプライチェーンの混乱や需給バランスの悪化による材料高騰  
ウクライナ問題の発生による原油価格の高騰  
各国政府の環境規制強化による対策コストの上昇  
世界的なインフレや人手不足による人件費高騰  
燃料費・電気代の上昇

### コスト上昇

- ◆ 材料コスト
- ◆ 物流コスト
- ◆ 人件費
- ◆ ユーティリティコスト

## 利益影響

(単位：億円)

	2020	2021	2022	3年計
コスト	+15	△81	△183	△248
価格改定	+14	+44	+147	+204
利益影響額	<b>+29</b>	<b>△37</b>	<b>△36</b>	<b>△44</b>

### コスト改善

- ◆ 価格改定
- ◆ 拠点の統廃合・再編
- ◆ 生産設備合理化
- ◆ 他社との業務提携\*

\* DIC株式会社との業務提携を2月1日に発表

国内の商業オフ輪インキおよび新聞インキ事業において、両社の生産設備・物流施設を相互に有効活用し、効率的配送、一部生産の協業やBCPなどを検討していく

# 1-5 セグメント別 売上高・営業利益

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	2021年12月期	2022年12月期	前期比 (%)	2021年12月期	2022年12月期	前期比 (%)
印刷インキ・機材 (日本)	504	<b>514</b>	2.0	13	<b>4</b>	△70.2
印刷インキ (アジア)	385	<b>480</b>	24.6	22	<b>17</b>	△22.2
印刷インキ (米州)	549	<b>738</b>	34.5	14	<b>3</b>	△75.4
印刷インキ (欧州)	159	<b>194</b>	22.3	△1	△ <b>5</b>	-
機能性材料	143	<b>155</b>	8.2	19	<b>15</b>	△16.6
報告セグメント計	1,742	<b>2,083</b>	19.6	67	<b>35</b>	△48.0
その他	172	<b>140</b>	△18.5	3	<b>3</b>	△3.9
調整額	△99	△ <b>68</b>	-	2	<b>2</b>	-
合計	1,814	<b>2,155</b>	18.8	74	<b>41</b>	△44.4

## 利益プラス要因

- パッケージ用インキの需要回復・拡販
- インクジェットインキ・トナーの回復・拡販
- 販売価格の改定
- 為替換算影響

## 利益マイナス要因

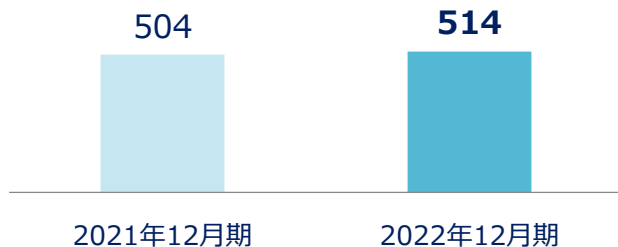
- 原材料価格や物流費・人件費の高騰
- ユーティリティコストの上昇
- 消費の落ち込みにおける需要減 (アメリカ第4四半期)
- デジタル化進展による情報メディア関連の需要減



# 1-6 印刷インキ・機材（日本）

(単位：億円)

## 売上高



	増減額 (億円)	増減率 (%)
前 期 比	9	2.0

+

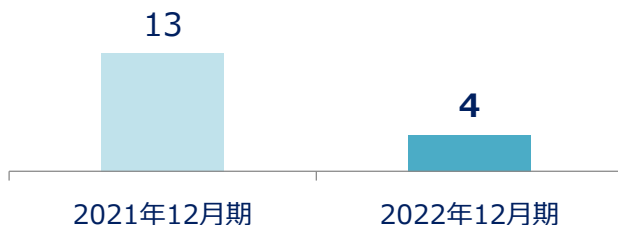
- 内食需要、健康食品などの需要増加（軟包材用グラビア）
- 加工食品、青果物関係堅調（段ボール用フレキソ）
- 紙袋関係の拡販（紙袋用フレキソ）
- 販売価格改定

-

- 広告需要低迷・デジタル化進展（新聞・オフセット）
- 印刷製版用材料・機械販売の減少

## 営業利益

(単位：億円)



	増減額 (億円)	増減率 (%)
前 期 比	△9	△70.2

+

- パッケージ関連の堅調
- 販売価格改定

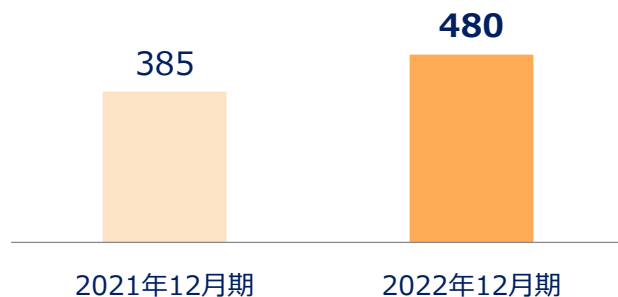
-

- 広告需要低迷・デジタル化進展（新聞・オフセット）
- 原材料価格の高騰

# 1-7 印刷インキ（アジア）

（単位：億円）

## 売上高



	増減額 (億円)	増減率 (%)
前 期 比	94	24.6
為替影響排除後	30	7.8

+

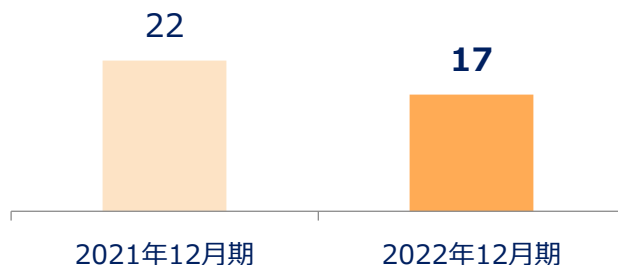
- 経済活動再開に伴う数量回復（新聞・軟包材用グラビア）
- パッケージ関連の拡販（インドネシア、ベトナムなど）
- 販売価格改定（軟包材用グラビア）
- 円安による為替換算影響

-

- 上海ロックダウンの影響による生産・販売減（中国）

（単位：億円）

## 営業利益



	増減額 (億円)	増減率 (%)
前 期 比	△4	△22.2
為替影響排除後	△8	△36.7

+

- 経済活動再開に伴う数量回復（新聞・軟包装用グラビア）
- 販売価格改定

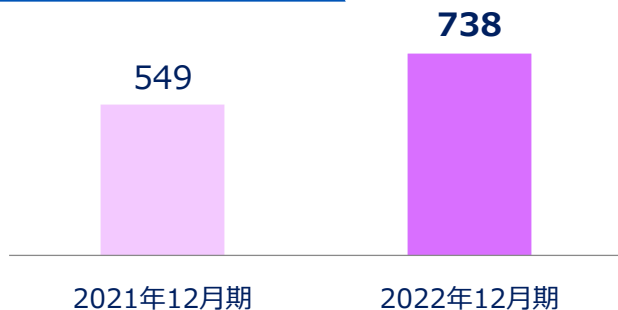
-

- 上海ロックダウンの影響による生産・販売減（中国）
- 原材料価格の高騰

# 1-8 印刷インキ（米州）

（単位：億円）

## 売上高



	増減額 (億円)	増減率 (%)
前 期 比	189	34.5
為替影響排除後	65	12.0

+

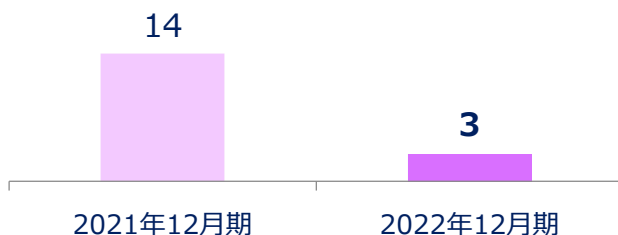
- アルミ缶需要増加に伴う拡販（金属缶用メタル）
- 販売価格改定
- 円安による為替換算影響

-

- 消費の落ち込みによる需要減（パッケージ関連）
- 広告需要減少・デジタル化進展（オフセット）

（単位：億円）

## 営業利益



	増減額 (億円)	増減率 (%)
前 期 比	△11	△75.4
為替影響排除後	△11	△79.5

+

- アルミ缶需要増加に伴う拡販（金属缶用メタル）
- 販売価格改定

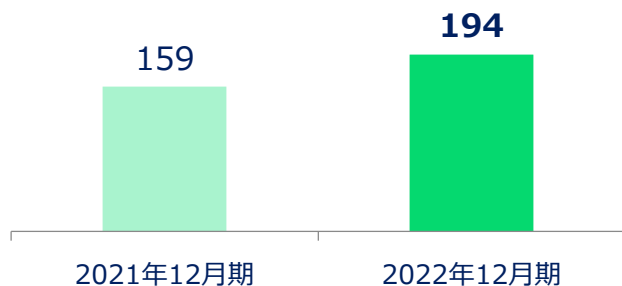
-

- 消費の落ち込みによる需要減（パッケージ関連）
- 原材料価格・物流コストの上昇
- 人件費上昇

# 1-9 印刷インキ（欧州）

（単位：億円）

## 売上高



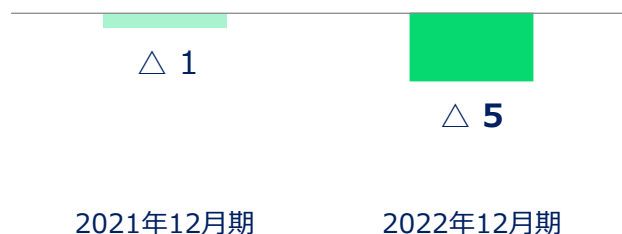
+

- アルミ缶需要の増加に伴う拡販（金属缶用メタル）
- パッケージ関連の拡販（フィルム用フレキシ・グラビア）  
（紙器用途UVオフセット）
- 販売価格改定
- 円安による為替換算影響

	増減額（億円）	増減率（%）
前 期 比	35	22.3
為替影響排除後	23	15.1

（単位：億円）

## 営業利益



+

- アルミ缶需要の増加に伴う拡販（金属缶用メタル）
- パッケージ関連の拡販（フィルム用フレキシ・グラビア）  
（紙器用途UVオフセット）
- 販売価格改定

-

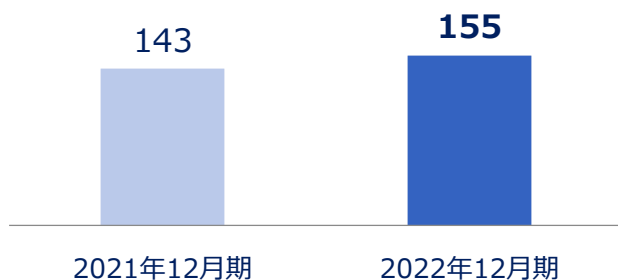
- 原材料価格の上昇
- ユーティリティコストの上昇
- 物流コスト上昇
- 人件費上昇

	増減額（億円）	増減率（%）
前 期 比	Δ 3	-
為替影響排除後	Δ 3	-

# 1-10 機能性材料

## 売上高

(単位：億円)



	増減額 (億円)	増減率 (%)
前 期 比	11	8.2
為替影響排除後	1	1.1

+

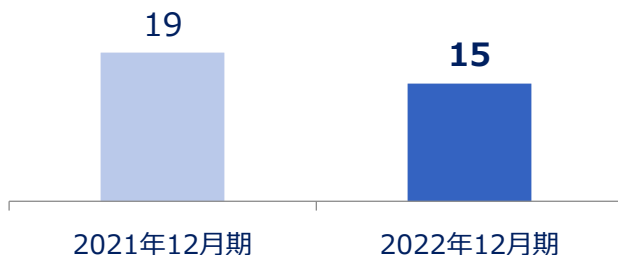
- 広告需要の回復、欧米での拡販（インクジェットインキ）
- オフィス需要の回復（トナー）
- 販売価格改定

-

- パネルディスプレイの需要減（カラーフィルタ用顔料分散液）

## 営業利益

(単位：億円)



	増減額 (億円)	増減率 (%)
前 期 比	△3	△16.6
為替影響排除後	△3	△18.8

+

- 広告需要の回復、欧米での拡販（インクジェットインキ）
- オフィス需要の回復（トナー）
- 高付加価値製品の展開
- 販売価格改定

-

- 原材料価格の上昇
- パネルディスプレイの需要減（カラーフィルタ用顔料分散液）

# 1-11 連結貸借対照表の主な増減・連結キャッシュフロー計算書

## ◆ 連結貸借対照表の主な増減

(単位：億円)

科目	2021年 12月31日現在	2022年 12月31日現在	増減
現金・預金	126	<b>121</b>	△5
売上債権	493	<b>538</b>	44
流動資産	928	<b>1,011</b>	82
固定資産	740	762	22
資産合計	1,668	<b>1,774</b>	105
仕入債務	362	<b>374</b>	11
短期借入金	104	<b>130</b>	25
流動負債	552	<b>591</b>	38
長期借入金	55	<b>112</b>	56
固定負債	191	<b>253</b>	61
負債合計	744	<b>844</b>	100
自己資本 ※	863	<b>862</b>	△1
非支配株主持分	60	<b>66</b>	5
純資産合計	924	<b>929</b>	4
負債・純資産合計	1,668	<b>1,774</b>	105
期末レート (USDル)	115.02円	132.70円	—

### 有利子負債

2021年12月末 184億円

**2022年12月末 278億円**

### 自己資本比率

2021年12月末 51.8%

**2022年12月末 48.6%**

※ 自己資本

= 株主資本合計 + その他の包括利益累計額合計

## ◆ 連結キャッシュフロー計算書

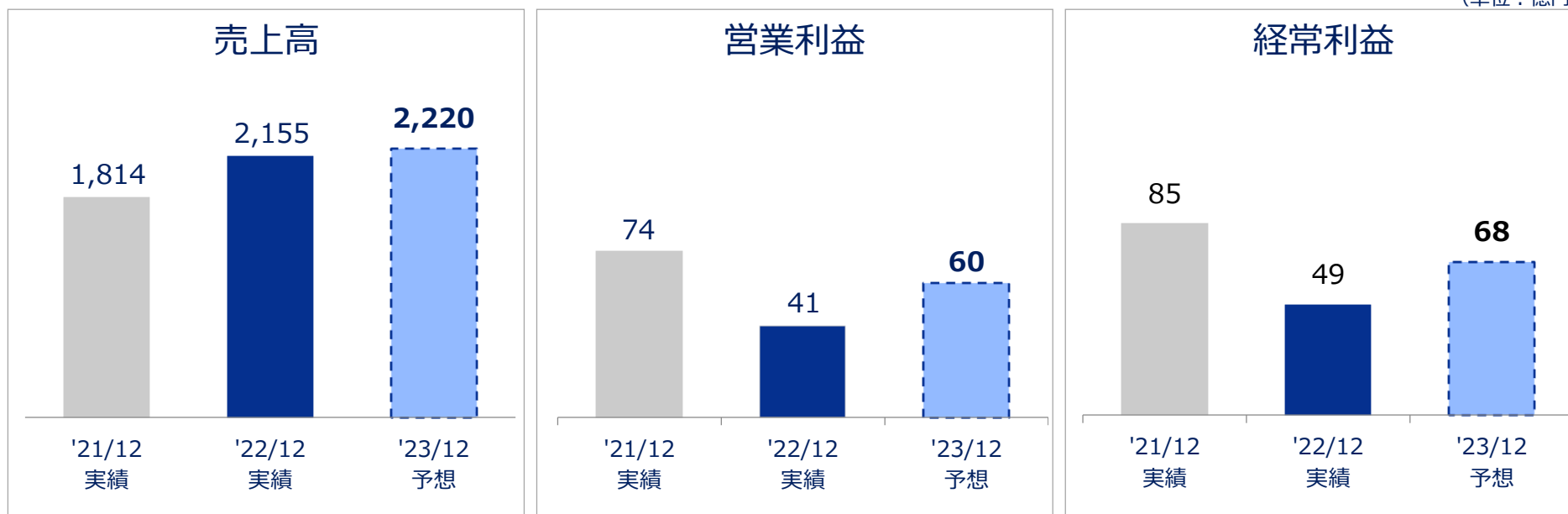
(単位：億円)

科目	2021年12月期 (2021.1.1~12.31)	2022年12月期 (2022.1.1~12.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	75	<b>49</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 53	△ <b>16</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 28	△ <b>38</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	121	<b>117</b>

## 2. 2023年12月期 通期予想と投資計画

## 2-1 通期業績予想

(単位：億円)



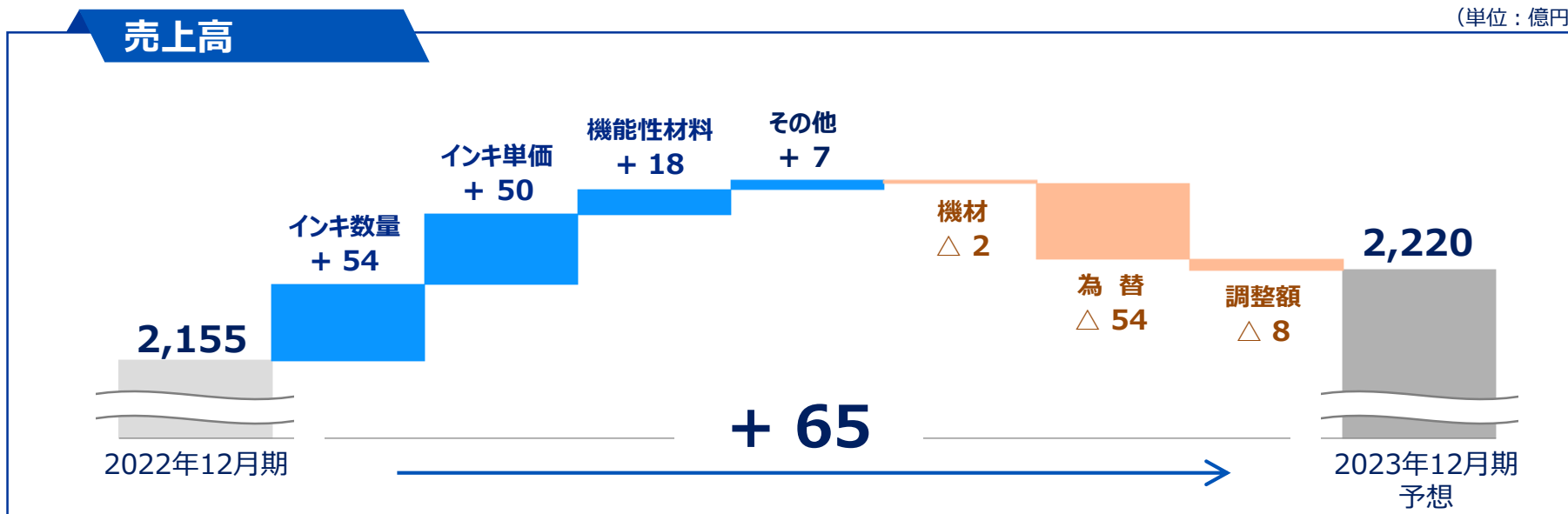
(単位：億円)

	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期 予想		
	金額	金額	金額	増減額	前期比 (%)
売上高	1,814	2,155	<b>2,220</b>	64	3.0
営業利益	74	41	<b>60</b>	18	45.4
経常利益	85	49	<b>68</b>	18	37.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	49	45	<b>47</b>	1	3.2
期中レート (USDollar)	109.80 円	131.43 円	<b>125.00 円</b>		

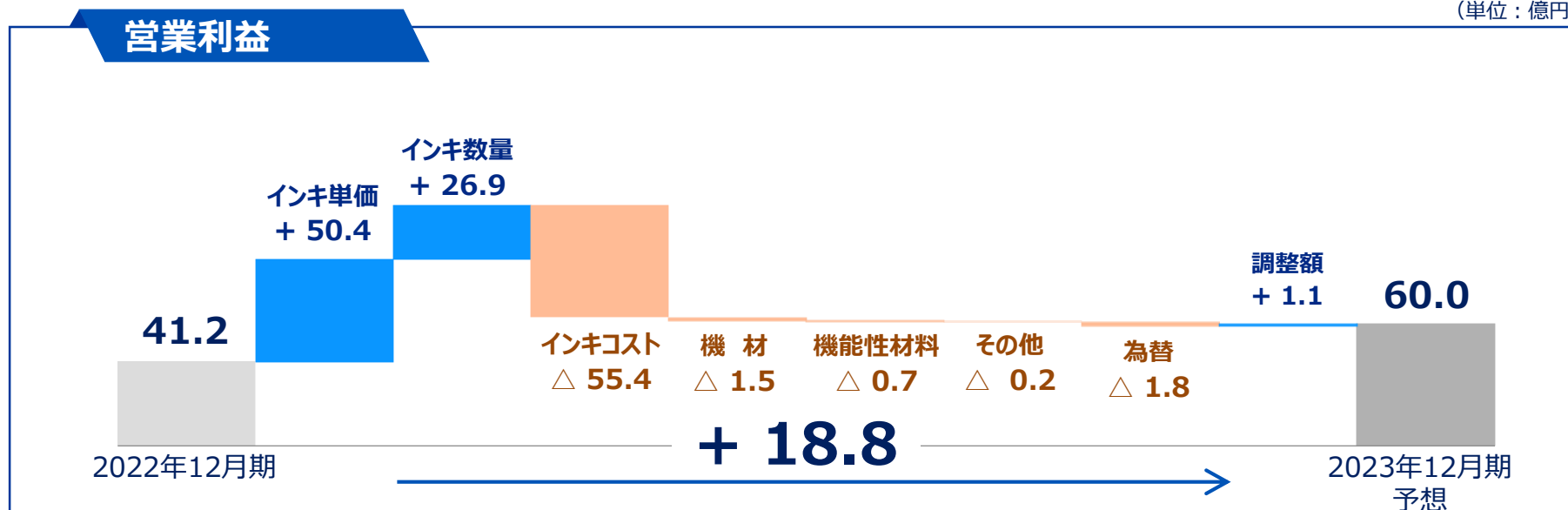


## 2-2 通期予想 要因別増減（前期比）

（単位：億円）



（単位：億円）



## 2-3 セグメント別 通期業績予想

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	2022年12月期	2023年12月期 予想	前期比 (%)	2022年12月期	2023年12月期 予想	前期比 (%)
印刷インキ・機材 (日本)	514	<b>532</b>	3.5	4	<b>4</b>	5.2
印刷インキ (アジア)	480	<b>515</b>	7.2	17	<b>24</b>	40.7
印刷インキ (米州)	738	<b>730</b>	△1.1	3	<b>13</b>	3.7倍
印刷インキ (欧州)	194	<b>201</b>	3.6	△5	△3	—
機能性材料	155	<b>169</b>	9.4	15	<b>14</b>	△5.7
報告セグメント計	2,083	<b>2,149</b>	3.2	35	<b>53</b>	50.6
その他	140	<b>146</b>	4.6	3	<b>3</b>	△4.8
調整額	△68	△ <b>76</b>	—	2	<b>3</b>	—
合計	2,155	<b>2,220</b>	3.0	41	<b>60</b>	45.5

### 利益プラス要因

- パッケージ用インキの拡販
- インクジェットインキ・トナーの拡販
- 販売価格の改定

### 利益マイナス要因

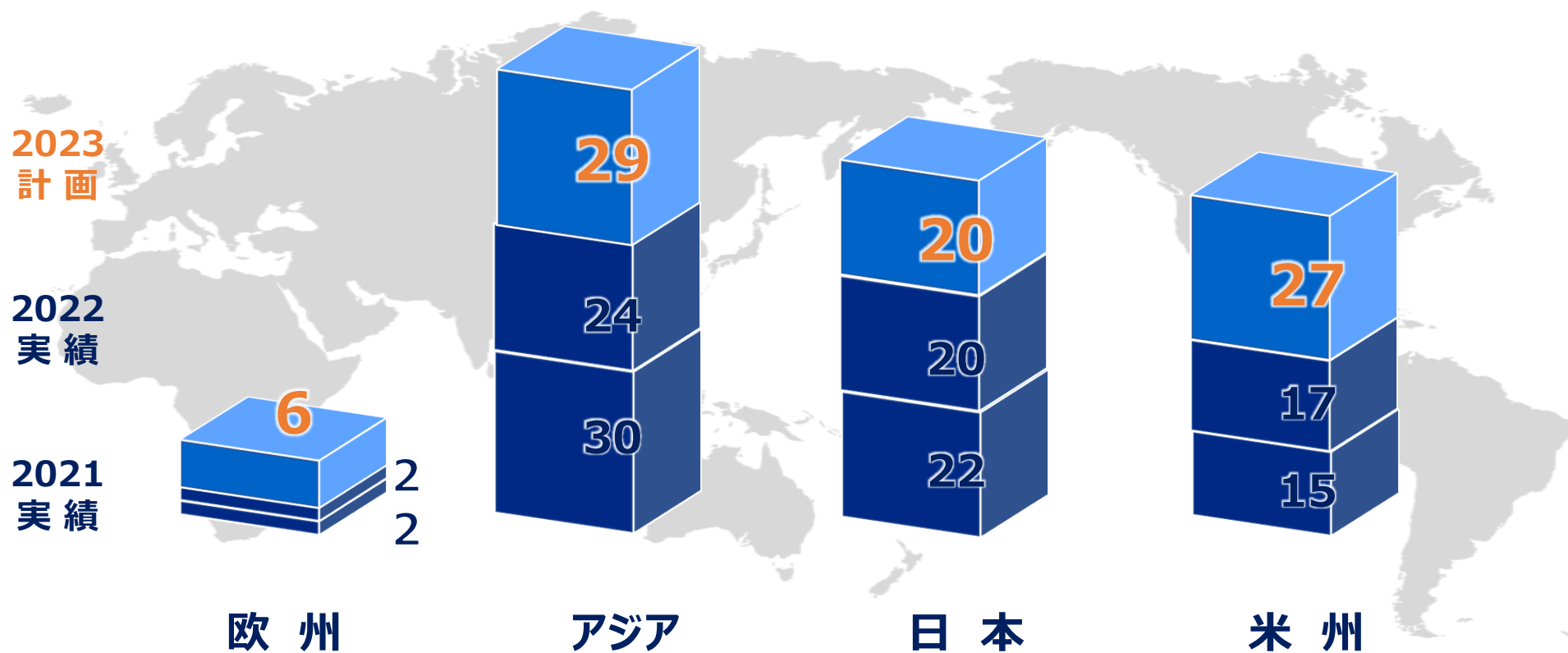
- 原材料価格や物流費の高止まり
- 人件費・ユーティリティコストの上昇
- デジタル化進展による情報メディア関連の需要減

## 2-4 地域別設備投資予定額 (非連結含む)

(単位：億円)

2023年12月期計画

今期設備投資予定額  
82億円



## 2-5 主な設備投資計画

完工

今後の計画

### 日本

- 大阪工場リニューアル（'23年 完工予定）
- 基幹システム更新（今後数年間）

### 中国

（広東省茂名）

- オフセットインキ第2工場建設（'23年 完工予定）

### インド

（パナリ）

- UVインキ設備増強（'23年 完工）

### ベトナム

（ハノイ）

- パッケージ用インキ設備増強（'23年 完工予定）

### フィリピン

（マニラ）

- パッケージ用インキ新工場建設（'23年 完工予定）

### インドネシア

（ジャカルタ）

- パッケージ用インキ設備増強（'22年 完工）

### アメリカ

（ウィスコンシン州）

- パッケージインキ工場用地取得

（ニューヨーク州）

- 缶用インキ設備増強（'23年 完工予定）

（オハイオ州）

- パッケージ用インキ設備増強（'22年 完工）

### コロンビア

（ボゴタ）

- パッケージ用インキ設備設置（'23年 完工予定）

### ブラジル

（サンパウロ）

- パッケージ用インキ新工場建設（'24年 完工予定）

## 3. 持続的成長に向けた取り組み

## 3-1 持続的成長に向けた取り組み（長期ビジョン）

# SAKATA INX VISION 2030

**Create and Innovate, Care for the Earth, Color for Life**

あなたと、つくる、価値ある、あした

### 戦略の方向性

地球環境と地域社会を重視した  
ESG・サステナビリティの取り組み強化

印刷インキ・  
機能性材料事業の拡大

新しい事業領域への挑戦

基盤構築

事業拡大収益力強化

長期ビジョン実現へ

中期経営計画2023  
CCC-I

中期経営計画2026  
CCC-II

中期経営計画2029  
CCC-III

## 3-2.1 ESG・サステナビリティの取り組み強化

### 各種方針の制定・改定

※サカタインクスグループ対象

**E**

- ・環境基本理念・環境基本方針の改定 ※ (2022.8)
- ・品質基本理念・全社品質方針の改定 ※ (2022.8)
- ・生物多様性に関する基本方針策定 ※ (2023.2)

**S**

- ・人権方針策定 ※ (2022.3)
- ・ダイバーシティ・イクイティ&インクルージョン基本方針策定 ※ (2022.8)
- ・社会貢献活動方針策定 ※ (2022.8)
- ・人材育成・社内環境方針策定 ※ (2023.2)

**G**

- ・調達ガイドライン策定 ※ (2022.2)
- ・調達基本方針策定 ※ (2022.2)
- ・税務方針策定 ※ (2022.8)
- ・情報開示方針策定 (2022.8)
- ・知的財産基本方針策定 ※ (2023.2)

### 団体・外部イニシアティブへの参加

- 国連グローバル・コンパクトへ署名 (2022.2)
- TCFD提言への賛同表明 (2022.2)
- パートナーシップ構築宣言 (2022.2)
- SEDEXへの入会 (2022.2)
- 30by30アライアンスへの参加 (2022.4)
- J-CEPへの参画 (2022.4)
- WEPS (女性エンパワーメント原則) への署名 (2022.8)
- 人的資本経営コンソーシアムへの入会 (2022.8)
- イクボス企業同盟 (2022.10)
- 経団連生物多様性宣言イニシアチブへの賛同 (2023.1)



## 3-2.2 ESG・サステナビリティの取り組み強化（マテリアリティと進捗）

### マテリアリティ（重要課題）

持続可能な地球環境を維持するための活動

安心・安全な製品の供給

研究開発・技術力の強化

コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスの強化

人権の尊重、DE&Iの推進


#### 個別課題

#### FY2022 進捗・取り組み

#### 2030年目標KPI

- E**
- ・気候変動・自然環境保全に関わる活動
  - ・TCFD提言に沿った情報開示
  - ・ボタニカルインキ  
植物由来成分使用によるCO<sub>2</sub>排出抑制に貢献

- ・環境や生物多様性に関する各種方針の策定・改定
- ・CO<sub>2</sub>排出量25.0%削減  
(国内工場2013年比)
- ・国内パッケージインキ（フィルムパッケージ・紙袋）のボタニカルインキシリーズ販売比約6割超  
(販売伸長率2018年比2倍増)

- ・GHG50%削減（Scope1&2）  
(2023年:29%削減、2026年:35%削減、2050年実質ゼロ)
  - ・ボタニカル製品比率の向上  
ボタニカル度の向上  
持続可能な製品ラインナップの拡充
- 

- S**
- ・人権重視とDE&Iの推進
  - ・健康経営推進
  - ・グローバル人材など育成のためのキャリアパス・人事政策

- ・サカティンクスグループ ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン基本方針 策定 (2022.8)
- ・人権DD・アセスメントの実施
- ・健康経営優良法人2022認定
- ・海外研修および海外研修生受入制度の実施

- ・重大な人権侵害 ゼロ
- ・「健康経営優良法人 ホワイト500」の認定
- ・国内女性管理職比率15%以上

- G**
- ・グローバル経営体制の強化
  - ・リスクマネジメントの強化
  - ・コンプライアンスの教育と啓発

- ・「グローバル連結経営推進グループ」を新設
- ・海外現地法人を含むBCP（事業継続計画）の強化
- ・海外現地法人を含む「グローバル内部通報制度」の導入検討

- ・グローバルな組織体制の確立・運用
- ・グローバルなリスクマネジメント体制の確立
- ・重大コンプライアンス違反件数 ゼロ



# 3-3.1 既存事業拡大（ボタニカルインキ）

## 環境配慮型製品の販売拡大



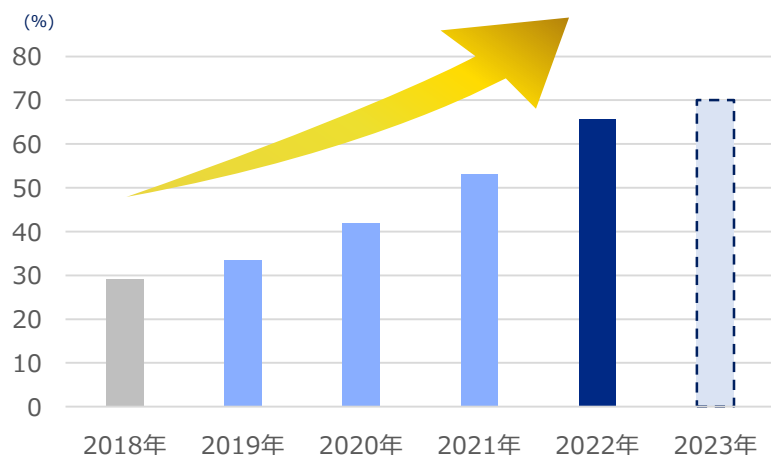
### 「ボタニカルインキ」

- ・当社独自のオリジナルブランド
- ・植物由来成分をインキ固形分中に10%以上含有
- ・非可食の植物由来成分のみを使用

### ボタニカルインキシリーズの伸長

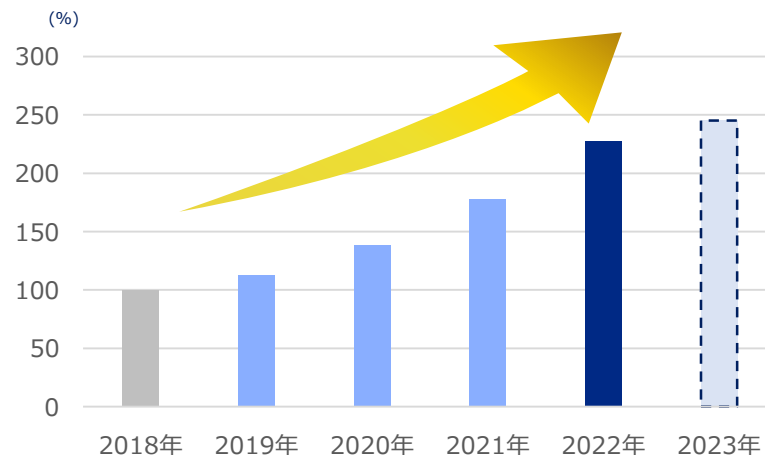
販売構成比率\*

6割超



販売伸長率\*

2倍増



\* 国内におけるフィルムパッケージ・紙袋用インキ

今後は海外における環境配慮型製品の展開加速

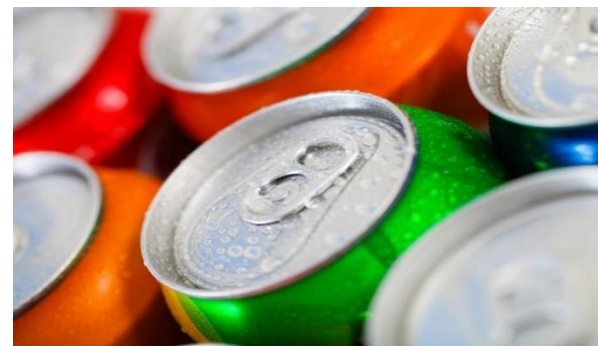
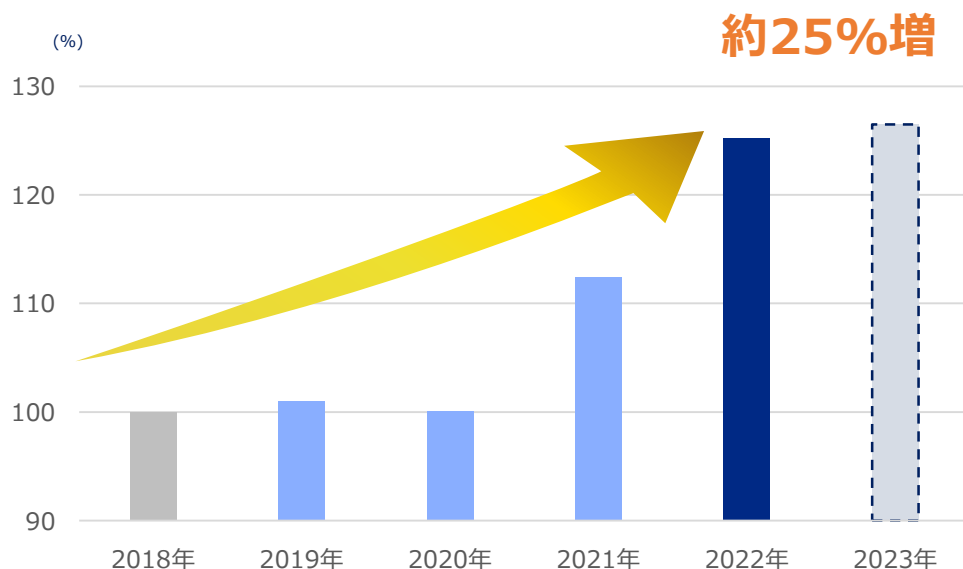
## 3-3.2 既存事業拡大（メタルインキ）

### ■メタルインキ（金属缶用インキ）の販売拡大

#### メタルインキ販売の伸長

#### アルミ缶市場の成長背景

- ・アルミのリサイクル性の高さ（環境意識の高まり）
- ・内容物の長期保存性の高さ
- ・低アルコール飲料などの増加 など



米州を中心とした世界的な需要拡大に対応していく

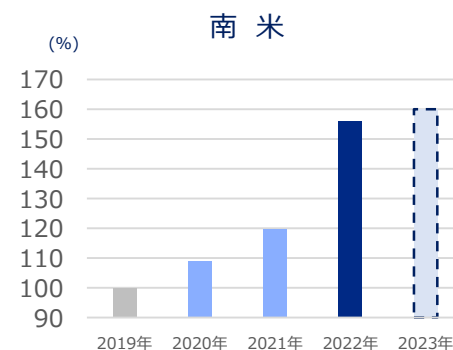
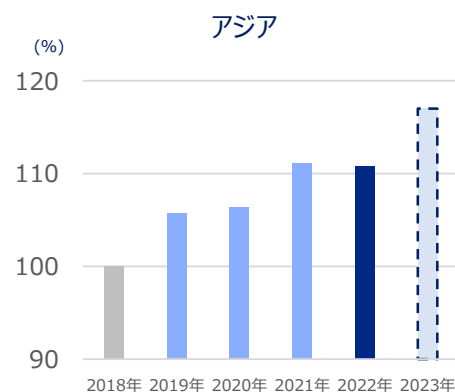
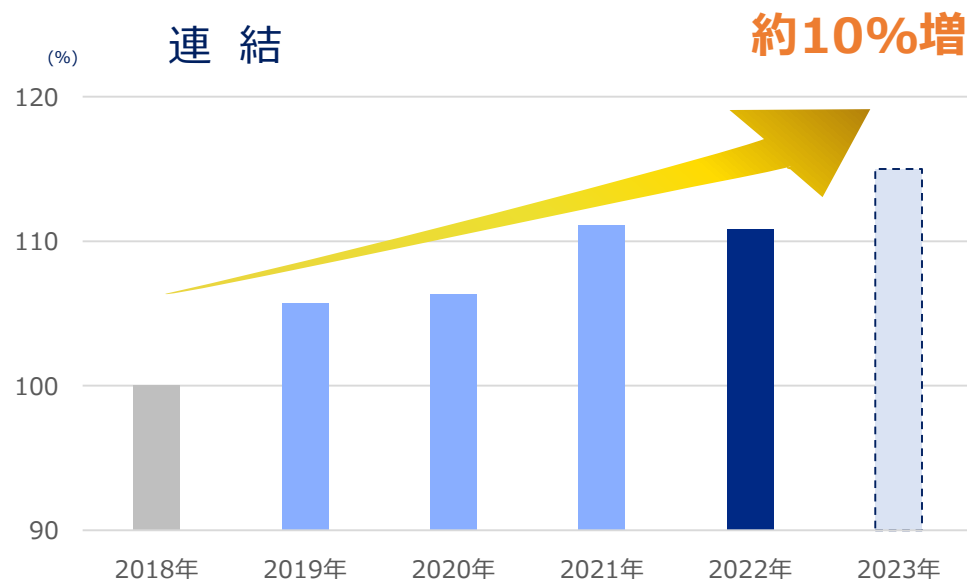
# 3-3.3 既存事業拡大（パッケージ用インキ）

## ■パッケージ用インキの販売拡大

人口増と経済成長にともない安定的に市場が拡大



### 各地域の伸長



成長市場である新興国を中心に環境配慮型インキで販売を拡大していく

# 3-4.1 新規事業分野

『人々の快適な暮らしへの貢献』 『持続可能な社会の実現』

SAKATA INX  
VISION 2030

Create and Innovate,  
Care for the Earth,  
Color for Life

## 〈新規事業分野〉

- ・導電/絶縁材料
- ・防湿コート剤 など



エレクトロニクスケミカル

エナジーケミカル



- ・ペロブスカイト太陽電池
- ・増感型熱利用電池 など



- ・高屈折/低屈折光学材料
- ・次世代表示光学材料 など



オプトケミカル

環境・バイオケミカル



- ・非可食バイオマス樹脂
- ・ガスバリア剤
- ・プラズマ技術の活用 など



オープンイノベーション

SAKATA INX コア技術

樹脂合成技術  
分散・加工技術 など

戦略的投資

※2030年当社推定市場規模1兆円超

## 3-4.2 新規事業の具体的取り組み（環境・バイオケミカル）

### ■ 非可食バイオマス原料を用いた新規素材

責任ある企業として社会に貢献するサステナブルな製品開発

樹脂合成技術（コア技術）  
バイオマス材料の知見

製品に必要なキーマテリアルの内製化  
製品供給の安定化

持続可能な社会の実現  
環境配慮型素材の重要性の高まり



新たな価値の創造

**非可食植物由来バイオマス樹脂**  
(UV硬化樹脂/熱可塑性樹脂/熱硬化樹脂)

ターゲット市場

インキ・塗料・電子部材・機能性コーティング剤・接着剤



塗料や電子部材向けメーカーにてサンプルワークを実施

### ■ プラズマ技術の応用

印刷技術向けとして開発したプラズマ技術を活用し、水耕栽培などの工業利用後の排水を  
除菌・機能水化させることで、水資源の削減とCO<sub>2</sub>削減に貢献する

今後も、当社基盤技術と新しいパートナーとのシナジーでこれまでにない価値創造を目指す



# 3-4.3 新規事業の具体的取り組み（エレクトロニクスケミカル）

## ■プリントドエレクトロニクス

新規事業創出  
オープンイノベーションの推進

IHリフロー技術（WFC）



大手機器メーカー

大手部品メーカー など

印刷・塗工評価技術  
プロセスに合わせた素材開発力

SAKATA INX...

Visual Communication Technology

導電/絶縁  
材料

低温焼成  
金属ペースト

高導電率  
ペースト

導電性  
接着剤

防湿  
コート剤

グループ企業のシナジー創出  
エレクトロニクス産業の成長性

SiIX

We care.



電子機器EMS大手  
部品開発・量産実装

2022年11月よりモバイル機器の量産に採用され、販売開始

エレクトロニクスケミカル分野では、  
素材から社会実装までのバリューチェーンを繋ぎ  
独自のトータルソリューションを提供していくことで  
顧客の革新的製品に貢献していく



モバイル機器



ウェアラブル



モビリティ



産業用機器



センサー



ヘルスケア

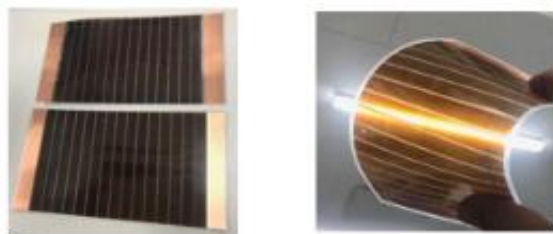
# 3-4.4 新規事業の具体的取り組み（エナジーケミカル・オプトケミカル）

## ■ エナジーケミカル分野

### ■ ペロブスカイト太陽電池

印刷技術で生産できる太陽電池で  
低照度でも高効率発電を発揮

当社の基盤技術である塗工技術を用い  
京都大学が立ち上げた  
「フィルム太陽電池研究コンソーシアム」  
に参画



出展：京都大学化学研究所 若宮研究室 Webサイトより  
<https://www.scl.kyoto-u.ac.jp/~wakamiya/projects.html#333>

### 想定実装例

#### ペロブスカイト太陽電池



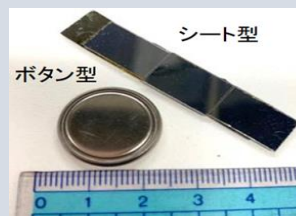
- ・屋根/壁
- ・照明下
- ・自然採光下
- ・輸送機器

など

### ■ 半導体増感型熱利用電池

東京工業大学 松下祥子 准教授と  
熱電池のフレキシブルタイプを共同開発

薄型、小型、積層などさまざまな形態が可能な電池  
天候に左右されず、暗所でも熱があれば発電可能



出展：東京工業大学 松下研究室 ウェブサイト 公開解説記事より  
Acc. Mater. Surf. Res. 2020, Vol.5 No.3, 60-67

#### 半導体増感型熱利用電池



- ・屋根/壁
- ・IoTセンサー
- ・熱流配管
- ・高所・暗所機器
- ・インフラ設備
- ・輸送機器
- ・地面下

など

## ■ オプトケミカル分野

当社独自技術による無機分散液を活用し、幅広い顧客に提案  
顧客ニーズに適したコーティング剤開発に取り組み、一部採用

### 採用事例



光学系無機分散液



機能性フィルムの  
付加価値向上へ寄与

## 4. 配当金について

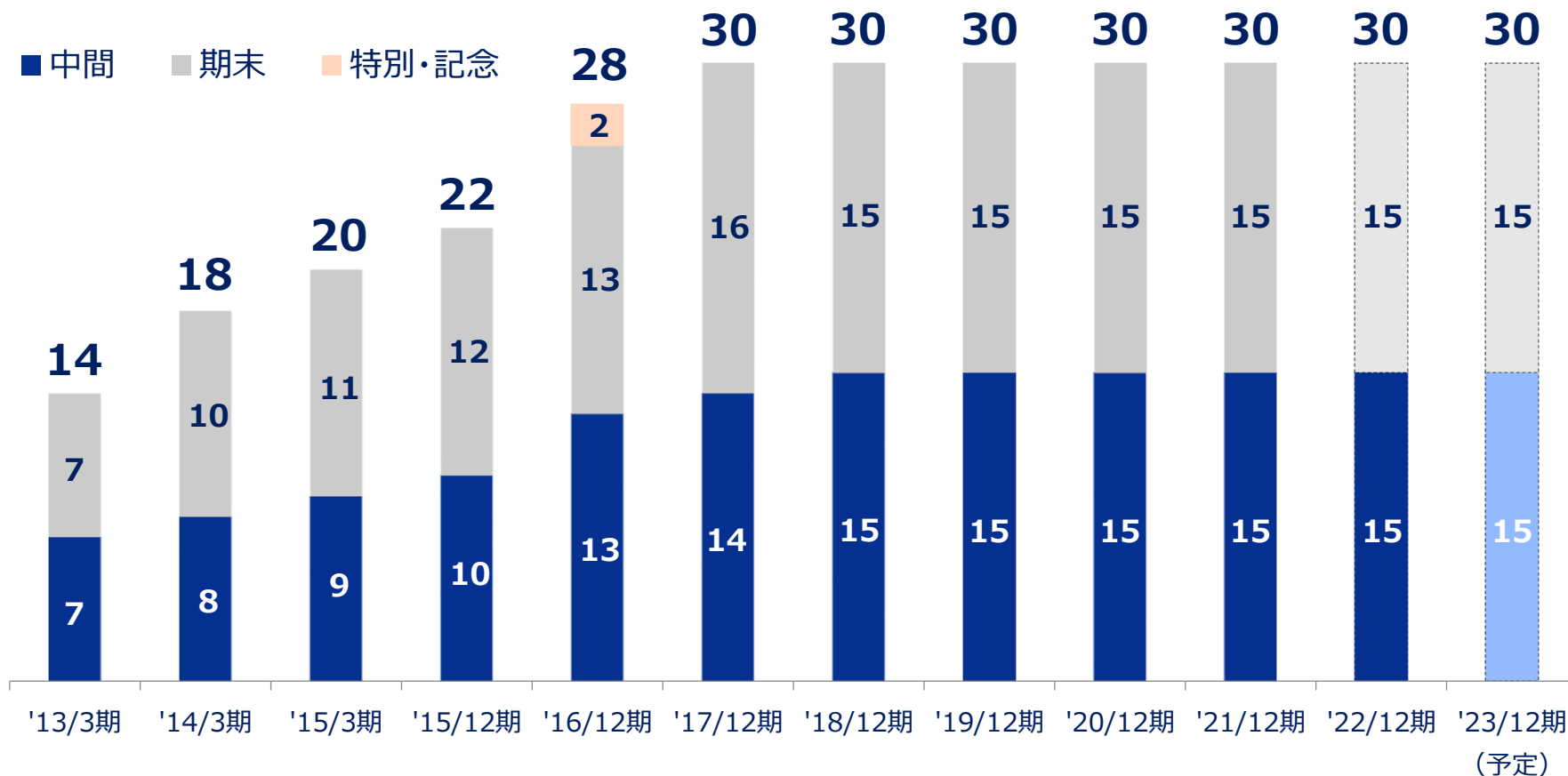


# 4-1 配当金の推移 (1株当たり)

## <配当方針>

- 安定的な利益還元
- 連結配当性向20%前後～30%前後

(単位：円)



# SAKATA INX...

Visual Communication Technology



<お問い合わせ先>

サカタインクス株式会社 広報・I R室

電話 03-5689-6601

メール [inx-prir@inx.co.jp](mailto:inx-prir@inx.co.jp)